

**産業創出による地域活性化を目指す
県立広島大学に研究費を助成**

市では、平成17年度の新規事業として、県立広島大学の研究者が行う地域資源を活用した農林業振興や環境保全の研究に対して助成する、「県立広島大学研究開発助成事業」の研究課題を決定しました。

この事業は、大学の研究者が所有するシーズ(種)を活用した研究成果を商品化・事業化に結び付け、新たな産業創出による地域活性化を図ることを目指しています。

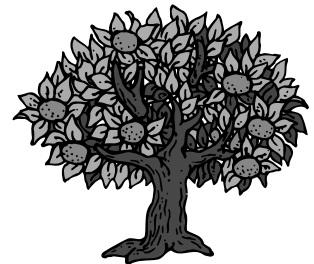
6月に研究課題を募集し、専門性・新規性に富んだ16件の提案の中から、実効性や期待度の高い次の5件を助成対象として決定しました。

今後は、研究に取り組む研究者と連携をとりながら、研究の成果が地域活性化につながるよう取り組みを進めていきます。

企画課政策企画係
0824-731114

◆助成対象研究課題

研究者氏名	研究課題の内容	対象分野
近藤 悟 教授	商品的に優れたりんご生産の研究。研究品種を活用したジャム製品の開発。	農業振興
森永 力 教授	家畜から排出される糞尿の悪臭の除去とメタン発酵の研究。低コストでの糞尿処理技術の開発。	農業振興 環境保全
江頭 直義 教授	天然鉱物を利用した排水浄化装置を地元企業と共同開発。業務用から家庭用まで幅広い効果を想定。	環境保全
武藤 徳男 教授	庄原地域の農産物の機能性を研究。農産物や加工品の付加価値を高め、健康志向にマッチした庄原ブランドを創出。	農業振興
早田 保義 教授	木炭ペレットを活用した発電装置や新たなエンジンシステムによる環境対応型バスの開発。	林業振興 環境保全



採択された研究課題

- ①中山間地域におけるコミュニティビジネス型商品の開発推進に関する研究
- ②中山間地域における第三セクターとコミュニティビジネスの経営戦略とその可能性に関する研究
- ③中山間地域における健康、福祉、子育て、地域振興を通じた住みよいまちづくりに関する総合研究—備北地域を中心として—
- ④中山間地域の自然資源を活かした新しい社会経済システムの構築に関する研究調査—「みどりの環～環境先進都市」の具体化戦略—

- ⑤中山間地域における機能性植物導入と商品開発による地域総合振興に関する研究—自然資源の高度利用と健康・安全・安心による循環型社会システムの構築—
- ⑥地域の道の駅を活用して地域産品の販売や加工販売を促進するための課題抽出と対策の策定



県立広島大学では、初めて公募により、大学と提案者が共同で研究する「地域課題解決研究」を募集し、市から提案した地域課題に関連する次の6件が採択されました。今後は、大学の研究者と市が共同して、解決を迫られている地域課題の研究を進めていくこととなります。

**地域課題の解決に向けて
県立広島大学と共同研究を実施**